

は klassische Oszillator の Eigenfrequency を $h\nu_0 \approx 43,6 \text{ meV}$ として見たところ、
binding energy をある order であるから、mass defect から
出たところの計算は違ふ。

29220567 29220567. 各々少くとも現在の
次に Neutron と Proton をよき方の立場から、Neutron を
elementary particle とする方が適當であると思ふ。
しかし Neutron を elementary particle とするときは、他の
charged particle との間には相互作用が働いてゐる。他の
charged particle との間には相互作用が働いてゐる。

Neutron の electric moment とは electric moment を指す
とせず、magnetic moment とする。この Kern への scattering が
いふことは、
Kern への scattering がいふことは、

29220567 29220567. Neutron と Kern との間には
相互作用がある。この assumption をおいて、scattering
を計算し、その結果が現在のところから、
その結果とよく一致する。force を仮定して Neutron
 10^{-13} cm .

Neutron の mass は、Massey; Proc. Roy. Soc. 138, 460, 1932
に finite radius を持つ rigid sphere として、
particle の scattering として、これを quantum mechanically
に扱ふ。 (I. I. Rabi; Phys. Rev. 43, 838, 1933)
Neutron の electric or magnetic moment を
仮定する。

この結果として、Neutron と Kern との間には
相互作用がある。この結果とよく一致する。

Neutron, Proton 等の間には相互作用の性質が、
molecule の間には弱く force は
atom or ion である。

と 記すは、 e の電荷と e の電荷と、 neutron の charge は 0 であるから、
この particle との間は electromagnetic field を
媒介しての interaction だけあり得る。

従って classically ~~neutron~~ neutron の finite size を
持つと、 e と e の interaction だけあり得る ~~interaction~~ ^{scattering} として
scatter される。このため、 e と e とは $Neutron$ の
中に verbunden される理由はない。Neutron, Proton
と e との間は e との間は attraction があるからである。
ね。この attraction は e と e との間と同じである。
よか？

Proton と Neutron とは elementary particle である。この間の
force は e と e との間は charged particles の間の force は
radiation を媒介しての e と e との間。即ち charged particles
が運動して radiation を emit すると、 e と e との間
の charged particles の e と e との間、その radiation を
吸収して e と e との間。即ち charged particles は electromagnetic
field を作り出し、 e と e との間。

これは e と e との間、neutron が electron を emit して、
proton になる。また proton が electron を absorb して
neutron になる。この e と e との間、neutron と proton との間は
の e と e との間、 e と e との間、neutron と proton
Neutron electronic field による e と e との間、 e と e との間、
である。また e と e との間、 e と e との間。

Proton と electron

2.

2粒を quantum mechanically in $U(1)$ gauge theory.

neutron, proton, electron の total number
 neutron, proton, electron の total number
 neutron, proton, electron の total number

$$n = \int \sum_{i=1}^4 \psi_i^\dagger(\mathbf{r}) \psi_i(\mathbf{r}) dV$$

波関数は ψ に対して ψ^\dagger は adjoint である。Proton, Neutron

は ψ と ψ^\dagger の満たす \hat{H} は linear homogeneous
 is, self-adjoint $\hat{H} = \hat{H}^\dagger$ である。Proton, Neutron

は ψ と ψ^\dagger の満たす \hat{H} は linear homogeneous
 is, self-adjoint $\hat{H} = \hat{H}^\dagger$ である。Proton, Neutron

波関数 ψ は ψ^\dagger と ψ の満たす \hat{H} は linear homogeneous
 is, self-adjoint $\hat{H} = \hat{H}^\dagger$ である。Proton, Neutron

$$\left\{ \frac{W}{c} + \frac{e}{c} A_0 + \rho_1 (\mathbf{p} \cdot \mathbf{A} + \frac{e}{c} \mathbf{A}) + \rho_3 m c \right\} \psi = \gamma^\dagger \gamma \psi$$

ここで $\gamma^\dagger = \gamma^0 \gamma^3$, $\gamma^0 = -i \gamma^1 \gamma^2$, $\gamma^j = -i \gamma^k \gamma^l$

γ は $\gamma^0, \gamma^1, \gamma^2, \gamma^3$ の 4 component の matrix.